

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 公民館運営審議会の活性化—事務局が変われば—

4.5

- 2 トピックス 第4回理事会・第2回評議員会開催
- 3 視点 公民館事業の重点化—狭くとも深く—
- 3 ひろば こんだいふ 権田雷斧顕彰会の発足
- 6 実践記録シリーズ 「五泉ふくろう大学」—五泉市大学連携講座の開催—
- 7 サークル交流 雪椿の会（長岡市）／とうゆうかい 陶遊会（佐渡市）
- 7 素顔拝見 川上一幸さん（見附市）／山田正直さん（胎内市）



「頑張ってます・関川」 関川村

表紙解説 頑張ってます・読み聞かせボランティア『ブルーベリー』
 毎月1回の「おはなしのかい」は子どもたちに大人気。毎回30～40人の子どもたちがこの日を心待ちにしています。

第4回理事会・第2回評議員会開催

18年度基本方針・事業概要決定
市町村合併と財政確立への対応

去る二月二十一日(火)の午後、新潟市生涯学習センターで第四回理事会が開催され、第五十六回県公民館大会の決算報告、当会の十八年度基本方針・重点目標・事業計画概要案・自主財源確立のための具体的方策(下欄、新潟

県公民館月報の自主購読の推奨)、第五十七回県公民館大会開催案、規定の改正等について協議され、また引き続き行われた第二回評議員会(出席十七人、委任十一人)が開催され、理事会で整理された案について協議し、ほぼ

原案どおり承認された。一、新年度の基本方針・重点目標・事業計画概要案について
基本方針は上掲のとおりであるが、最大の課題である市町村合併に伴う公民館月報購読数の大幅な減少は、自主購

読拡大推奨で補完していくこととなった。二、第五十七回新潟県公民館大会開催について
大会開催地小千谷市から提案され、七月二十一日(金)小千谷市民会館で予定どおり開催されることとなった。三、規程の改正について
十八年度予算で、市町村合併等により大幅な収入減が見込まれるため、規程を改正し事務局長の報酬を引き下げ健全化を図ることとなった。

平成18年度 新潟県公民館連合会基本方針(案)

基本方針

今年度は、県内の市町村合併も最終段階を迎え、そして地方交付税の減少に伴う行財政改革の流れも、急速に進みつつあります。

関連して、地方自治法の改正に係る「指定管理者制度」の導入等により、公民館等社会教育施設の民間委託の動きも出て来ております。また当県公連としては、新潟県町村職員退職手当組合の解散に伴う脱退精算負担金の返済という大変重要な問題にも直面しております。

このような厳しい時代の大転換期にあたって、公民館の役割・存在意義が大きく問われている今日、私ども新潟県公民館連合会では、これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、対応せざるを得ない状況にあります。

そこで、今年度は、公民館が生涯学習推進の中核施設として、また、まちづくり、地域づくり、人づくりの拠点として今後も一層重要な役割を果たすため、各行政機関・組織・地域住民の理解・協力を得ながら、次の6点を重点施策として取り組む所存であります。

- (1) 関係上部組織とのより一層の連携・強化
- (2) 職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3) 情報提供事業の充実・拡大
- (4) 事業の自己評価
- (5) 財政基盤の強化(自主財源確立への努力)
- (6) 市町村合併問題への最終的な対応



BOOKS INFORMATION

自主財源確立のためには

「新潟県公民館月報の自主購読推奨」

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年共・年極 1,800円

申込先 〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

視点

公民館事業の重点化

—狭くとも深く—

上越教育大学教授 山本 友和



公民館は「生涯教育」のための社会施設ですので、その対象者はあらゆる世代にわたる、その事業内容も広範なものになりがちです。でも、公民館運営のための資源（財源と人材）は有限ですし、縮減型・削減型行政改革の進展という状況もあります。したがって、その事業設定においては、重点化への勇氣、すなわち「狭くとも深く」から「狭くとも深く」への発想転換と覚悟が必要となってきます。

今日の公民館活動では、少子化・高齢化という社会状況を踏まえて、青少年と子育て世代、及び高齢者を対象とし

た学習活動への支援が特に大切だと考えます。また、支援にあたっては、教養・文化の向上、健康の増進といった目的を掲げつつも、仲間づくりや生きがいづくりという観点に特化した施策が不可欠だと考えます。

子ども、親子、お年寄りが「気軽に参加できる」（近くに位置し、居場所がある）場であり、それに参加すれば、何らかの「出会い」（同年代・世代間交流）があり、そして何よりも「楽しい」（参加してよかった）という気分になれる公民館事業であることを願っています。

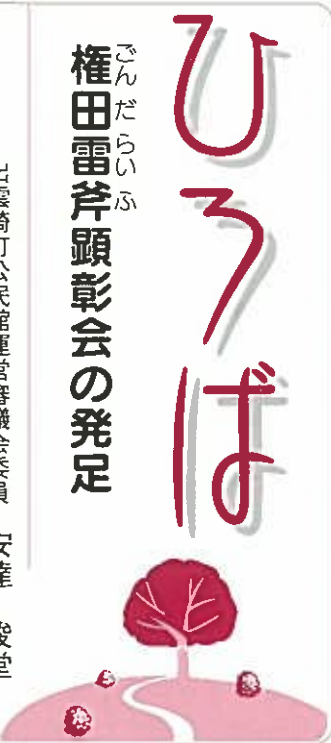
H O T N E W S 掲 示 板

第3回関東甲信越静公民館連絡協議会 理事会の開催



- 1 日時 平成18年2月24日（金）
13時30分より
- 2 会場 前橋市民文化会館
出席29人 三保会長
鈴木事務局長出席
- 3 議題
 - (1) 第46回関東甲信越静公民館研究大会の収支決算について
 - (2) 平成17年度関東甲信越静公民館連絡協議会事業及び収支決算について
 - (3) 監査報告 三保監事
 - (4) 第47回関東甲信越静公民館研究大会の開催計画について
 - (5) 平成18年度役員（案）について
 - (6) 平成18年度関東甲信越静公連理事会の日程等について
 - (7) 第29回全国公民館研究集会分科会の分担に関する調整について
 - (8) 社会教育研究大会及び公民館大会の同時開催等について
 - (9) 情報交換
 - (10) その他

権田雷斧顕彰会の発足



出雲崎町公民館運営審議会委員 安達 俊堂

平成十四年三月号「ひろば」に「権田雷斧猥下について」の記事を掲載させていただきました。

翌十五年春、郷土の偉人「雷斧猥下七拾回忌」を厳修するために、「顕彰記念実行委員会」が組織されました。具体的には次の事業実施

①記念誌の出版。（表紙共四〇頁）

②肖像画

③記念講演要旨

④遺墨展

⑤顕彰会協議会員名簿（二五四名）等。

⑥七拾回忌法要。於正法寺道場。

⑦記念講演会（参加者一七〇名）

⑧会場 出雲崎町中央公民館。

⑨演題 「権田雷斧先生に（ついで）」

「心月輪」

参加された方々から、雷斧顕彰会を今後とも継承されることを望ましいという声がありました。

その後「雷斧顕彰会会則」を作成。会員を募集。今まで総会を平成十六年六月二十六日（土）、平成十七年六月二十五日（土）に実施。記念講演拝聴、研鑽してきました。



議会の活性化

変われば—



親子で白玉ダンゴづくり

“審議会委員は今までと同じ意識では対処しきれなくなってきた。委員それぞれがさらに学習を必要とし、同時に市民も巻き込んだ学びの場を提供したい”という提案がありました。これを受けて当公民館が重点事業として取り組んできた「家庭教育の充実」を進めるため、「家庭教育部会」を9名の委員（家庭教育や子育て、青少年育成に関係する委員を中心に）して立ち上げました。

家庭教育部会は、委員自らが事業の企画立案を行い実際に講座を実施するため、研修やアドバイスを受けながら、関係者の生の声を聞くために茶話会を開催するなどして、平成14年度から公運審家庭教育部会主催の事業を企画・実施しております。

①家庭教育指導者研修（指導者的立場の人を育成することを目的）〔地域で子育て〕をテーマに地域や家庭で子どもたちを育てる大人たちのための講座です。

全市子ども育成会の事務局が公民館にあることを生かし、各地区育成会の指導者や子育てサークルなどの代表者とともに、アイスブレイキング、冒険教育のプロジェクト・アドベンチャーなどの手法の講習、体験を継続的に実施しています。

②家庭教育かるかも隊（親子で共通の体験をすることを目的）〔加茂大好きな子どもたち、ふろさと大好きな子どもたちを育てたい！〕をテーマに、親子で参加する事業です。

環境を考えるため加茂ゴミレンジャー（ゴミ拾いをしながら町並み再発見とウォークラリー）、地域の宝である加茂山探検隊、昔話を聞く真夏の昔話の会や歴史のある商店を訪ねるお仕事探検隊（今年はしらたま粉屋さん探検）などを通じて地域の再発見、親子の話し合いの場としています。

③家庭教育サポーター養成講座（既存の団体などをネットワークすることを目的）〔地域で子育て〕のステップアップとして、地域にあって子

どもたちや子育て中の親たちの相談、援助にかかわれる人材を増やしていきたいとの思いで立ち上げた講座です。

最初はカウンセリングの基礎から始め、専門家ではないが話を聞くことのできる人材育成のため3カ年連続で開講をしております。参加者は公運審委員、子ども育成団体役員、教師、保育士や学生などいろいろな分野で子どもたちに関わっている人達が受講しています。

4. まとめ

このように時間をかけて、公運審の運営に工夫と改善をしながら活性化に取り組んできました。公民館が必要であるとされる教育機関として存在し続けるには、公民館の一番の応援団である公民館運営審議会委員の皆さんからの協力が不可欠であり、公民館職員（事務局）は常に自らをふりかえり、気づくことが大切だと思います。公運審委員とともに審議会の活性化、さらには公民館の活性化をも推進できたことは、貴重な財産となりました。



白玉ダンゴをいただきます！

このことで委員からは研修などでの成果を生かした公運審の主催事業をはじめ、公民館の事業にも積極的にサポーターとして参加してもらうことが多くあります。その一例として昨年度から長期休業に「夏休み・冬休みキッズスクール」として子ども居場所事業に取り組むことができました。

さらに各委員が地域活動はもとより、子どもたちへのあいさつ運動や防犯パトロールなどにも活躍され、地域づくりの先頭に立っていることが、さらに審議会の議論を深めています。

このように、公運審委員と公民館（職員）との信頼関係を築くことにより、公民館について親身になって考える公運審ができ、審議会の活性化が図られ、そのまま公民館の充実、発展につながります。職員自身が常に意識改革し、事務局が変わることが大切ではないでしょうか。

特集

公民館運営審

—事務局が



加茂市公民館長

佐藤 俊夫

公民館の各種大会などの分科会の一つに必ずといってよいほど「公運審の活性化」があります。このことは、公民館の運営・事業計画の立案に欠くことのできない組織であり、“住民が参加して地域に根ざした公民館をつくる”という極めて重要な役割や目的があるためだと考えます。

そこで、当市の公民館運営審議会活性化を図る取組みを一つの事例として述べます。

1. 審議会活性化・改革の必要性

冒頭にも述べましたが、各種大会の分科会に参加して公運審委員さん方の意見を聞いていると、活躍の場がないなどの発言が必ずあり、当公運審も同じ悩みがありました。そのため公民館職員として公運審活性化のためになすべきことは何かを考え、分科会に出席していました。

当市の運営は年間5回の審議会を開催し、1回目は事業実績の報告と計画の説明、併せて翌年度の運営方針と事業計画の諮問を行い、2回目と3回目で審議を行い答申を取りまとめ、4回目は研修視察、5回目は社会教育委員との合同研修会という流れが長く続いており、審議内容にも問題がありました。

審議会委員は社会教育法改正前での選出でしたので各種団体からの選出が多く、公民館活動を知らない代表者が推薦されるため、発言されない方が多く、答申書も原案を事務局でまとめるという状況でした。公民館運営審議会があるから会議をしなければならない、との後ろ向きの対応を事務局がしてきたことが大きな原因であり、形式的な前年度踏襲を繰り返してきたからだと思います。

2. 活性化の取組み

○審議会委員の任期は2年でありますのでその機会を捉え、実際に公民館や地域で活動している人を選ぶことに配慮し、地域の課題について具体的な意見を述べてもらうことに努めています。

○審議会運営の改善

①運営審議会には「次年度の公民館の運営方針と事業計画について」を諮問します。諮問は公民館全般にわたるわけですが、その時の緊急な課題について集中審議をお願いしています。例えば一昨年からは、「家庭教育の充実」をテーマに、ワークショップ方式で審議を進めています。



家庭教育サポーター養成講座 講師 小柳 信子さん

さらに、議論をより深めるため研修会を開催しており、社会教育委員や民生委員などの皆さんにも呼びかけし、他団体との連携も図りながら、審議会の議論につなげています。

②審議会のうち1回は外に出て、研修と情報の収集を目的に視察を行います。従前ですと施設等の箱物に重点をおいた視察でありましたが、今は元気のある公民館から学ぶため、視察先は公民館を訪問しての研修を行い、公運審委員の方との交流の場もお願いし学ばせていただいております。

③運営審議会の開催時間も重要であります。当市の委員は定数20名で、男女それぞれ10名ずつであり、年齢構成は30代から70代で、平均は55歳です。勤め人、主婦、子育て中の皆さんと多様でありますので、集まりやすい午後3時からの開催とし、審議時間も2時間の集中審議とし、出席しやすい場の設定に努めております。

④審議会には、館長と職員全員が出席して審議に参加しており共通の理解に努めています。

また当市は一市一公運審でありますので、市内4分館の分館長・主事も出席して、各分館の状況や地域課題などを報告する中で、審議に参加しています。

⑤審議会委員対象の県公民館大会や各種研修会への参加は全員にお願いして、審議するための情報や資料としています。

⑥審議会委員からは主催事業に関わってもらうようお願いしています。公民館事業に参加することで、評価がより深まるからです。各委員は公民館のサークル活動はもとより、いろいろな組織や団体で実践活動をしておりますが、住民の一人として公民館事業に参加してもらうことで反省や評価がしやすく、提言や発言に生きてくるからです。

3. 部会の設置

○公運審の活性化を進める中で、委員のなかから

実践記録 96 シリーズ

「五泉ふくろう大学」—五泉市大学連携講座の開催—

五泉市教育委員会 生涯学習課 文化振興係 主査 山崎 天

1. はじめに

五泉市は、県都新潟市に接し、豊かな自然と水資源を背景に、農業や織物、ニット産業によって発展してきたファッションと清流のまちです。

産業や農業など他の地域に先駆け意欲的に取り組む気質は、私たち市民の誇りです。生涯学習の分野でも高度で先進的な知識の習得を願う要望は高く、それにお応えし開設したのがこの「五泉ふくろう大学」です。



2. テーマの設定と講義内容

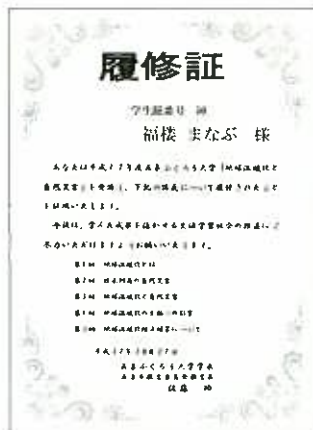
五泉ふくろう大学は、新潟大学理学部と連携し、1年目は、五泉市の誇りである「自然・水・清流」をテーマに、今年度は水害や震災に関心が高いことから「地球温暖化と自然災害」をテーマに全5回の講座として開催しました。

受講料は有料で、1回あたり千円としました。

平日夜間の開催にもかかわらず、市内を中心に隣接市町村からも受講の申込みをいただきました。

講師は、新潟大学理学部の協力により、それぞれの分野で最先端の研究をされている教員の方々に派遣していただきました。

講義は、実験やパソコンのパワーポイントを使用し、高度で専



門的な説明にもかかわらず、非常に分かりやすいものでした。受講生を引き込む講義内容のおかげで、出席者の聴講態度は講師の先生方が驚くほど熱心でした。

3. 学生証と履修証

少しでも学生の雰囲気味わっていただくために、学生証と履修証を発行しました。

受講生の多くは数十年ぶりに持つ学生証を大切に保管し、ファイルやノートにしっかりとはさんで持参していました。

履修証は受講した講義のテーマを記載して全員に発行し、最終日に全5回出席した受講生の代表者へ五泉ふくろう大学学長である五泉市教育長から授与しました。

4. レポート集の刊行

大学では単位の修得のため、試験やレポートの提出があります。五泉ふくろう大学でも学んだ成果を何とか形にできないかと考え、受講生の感想や学んだことをまとめたレポート集を刊行しています。

受講生から提出していただいたレポートを読むと、各回の講義内容をしっかりと記録したものやさ

らに掘り下げたもの、社会に対する提言や今後の生活に役立てようとする内容が記されています。

どのレポートも労作で、いきいきと学習された受講生の姿を思い浮かべることができるのではないかと思います。

5. おわりに

仕事が終わったあと時間を気にしながら急いで駆けつけてくる姿や、数十年ぶりに学生時代にもどり楽しんでいる表情をみると、大学等の高等教育機関と連携した講座の開設を多くの方が心待ちにしていたことがうかがえます。

これからの生涯学習は、高度で専門的な知識の習得を願う市民の欲求に応えることと、学んだ成果を活かせる生涯学習社会の実現が大きな課題になると思います。

	開講日	講義テーマ
①	9/1 (木)	地球温暖化とは
②	9/15 (木)	日本列島の自然災害
③	10/6 (木)	地球温暖化と自然災害
④	10/13 (木)	地球温暖化の生物への影響
⑤	10/27 (木)	地球温暖化防止対策について



只今「着物」満喫中!

雪椿の会

私たち「雪椿の会」は、長岡市中央公民館の女性教育活動「着付けコース」参加者有志が、講座終了後自主サークルとして立ち上げたものです。

月二回の勉強会では、着付けや帯結びのほか、所作や和服に関する教養まで、幅広く学んでいます。講師先生の手助けのもと、納得いくまで着直したり、新しいコーディネートネットを試したりしています。また、お茶を飲みながら、十五分程度意見交換の場を設け、さらに交流を深めております。

最近、若い人たちを中心に着物がまた見直されてきてい



ます。着物姿でお食事会や花見、街歩きを楽しんで、早春の長岡をあでやかに彩りたいと思います。

長岡市 雪椿の会代表

小野 美子 記

相川で陶芸を楽しむ

陶遊会(とうゆうかい)



相川技能伝承館の開館に伴って、登り窯が築窯されました。「無名異焼の梁山泊」と、当時の関係者の絶大な協力を得て誕生した登り窯は、耐火煉瓦製で焼成室を二室持つ本格的なものです。

当時の旧相川町では、毎年秋に、一般住民を対象に陶芸教室を開催していました。こ



登り窯の窯たき

の教室で、すっかり陶芸の虜になった教室修了生は、陶芸を続けるのはもちろん、せっかく立派な登り窯があるのだから、この窯で自分の作品を焼きたいと自然に思うようになり、陶遊会が誕生しました。

陶遊会では、通常の電気窯による焼成のほかに、年に二回程度の登り窯を実施しています。約三六時間、三百東の赤松の薪を燃やし尽くす窯焚きでは、最終段階で、千二百五十度の黄金色のプラズマが松灰を溶かし込み、えもいわれぬ景色を作品に与えてくれます。

佐渡市 陶遊会代表

河村 昇記

昨年4月新採用で、中央公民館に配属となった新人、山田正直さんを紹介します。

まもなく1年を迎える山田さん。名前のとおり、正直で裏表のない性格は周りの雰囲気明るくしてくれます。先輩・上司の信頼はまだまだイマイチ?ですが、即OK!即実行!自分の仕事より他人の仕事...周囲の人にはありがたい存在です。フットワークが良い反面、デスクワークは二の次で、机の書類の山は係長の心

胎内市中央公民館

主事補 山田 正直さん



配する視線を遮るかのよう。物怖じしない、おおらかさも、逆に先輩・上司を不安の渦に?...

とはいっても、持ち前の明るさで周囲を和ませ、失敗を恐れず仕事に取り組む山田さんは、我が公民館「期待の星」です!

(胎内市中央公民館 主査 佐久間伸一 記)

我が見附市公民館のフレッシュマン?川上一幸君は年齢も最年少。異動当初は戸惑う場面も見られましたが、今では大きな戦力です。保育士の資格を持ち、今後の幼児・少年向け事業をどう展開させてくれるか楽しみでなりません。

責任感も絶大です。7・13水害時には趣味の力又ーを車に搭載して駆けつけ、多くの住民の救助にあたりました(水害の際にご支援をいただいた皆様に改めて御礼申し上げます)

見附市中央公民館

主事 川上 一幸さん



ます)。その「男気」には感心するばかりで、もし僕が女だったら惚れてしまいそうです。

聞けばどうやら僕の中学校の後輩とのこと。ようやく公民館の「最年少職員」を返上できた僕は、ほおの筋肉がゆるみっぱなし。わっははは^^川上君、「ヤキソパン買って来い!」なんて決して言い付けないから力を合わせて公民館を盛り上げよう。

(見附市・葛巻公民館 佐藤 秀一 記)

素顔拝見

「市町村合併と公民館」の
 関プロ理事会の折冊子の紹介がなされ、購入申込みせねば、と考えていた折、執筆者のお一人、手島勇平さんから謹呈という形で送付されて参りました。
 3年間という短期間に、よくも多領域にわたり深く専門的な見解を述べておられ、なかなか読み甲斐のある冊子と感じました。



項では、全国に先駆け緊急アピールを起案、県大会で決議した新潟県公連の姿勢を評価していただき、びっくりしました。

資料も大変豊富で、どこから読んでも、つい誘い込まれるように内容に入っている。久しぶりに出会った専門的な良書という感を抱きました。初任者の方は入門書として、ベテランの方は、確認、深化をはかる形でご利用いただけそうです。
 (株)エイデル研究所
 A5判、512頁、六、〇〇〇円
 電話 〇三―三三三―四六四一

恵贈資料紹介
 公民館コミュニティ施設ハンドブック
 日本公民館学会編

Net work ネットワーク

TOPICS

全国大会のレポートから、公民館が直面する課題の検討まで。致く迫ります。

元気いっぱい！仲間もいっぱい！エネルギーあふれる団体が満載です。

新潟県 公民館月報 KOMINKAN GEPPPO

新潟県社会教育実践情報誌の決定版 公民館を知るには公民館月報から！

生涯学習に関わる様々な立場の人が熱い想いを語ります。

県内各地域の公民館の取り組みの最前線より、魅力的な企画をご紹介します。

新規購読募集中

公民館職員・生涯学習関係者・公民館利用者・学校関係者など社会教育に携わる全ての方、必見！

新潟県内の生涯学習の動向をはじめ、公民館の最前線のいきいきとした活動の様子がよくわかる、新潟県社会教育実践情報誌の決定版。ぜひご購読ください。

■ 定価 1部150円 年間購読料1,800円(税・税込) ■

お申し込み・お問い合わせ 新潟県公民館連合会
 〒951-8053 新潟市川崎町2-9 県林業会館内 TEL・FAX(025)224-6073 E-Mail ni-koren@juno.ocn.ne.jp

新潟県公民館月報 年間購読申込書
 平成18年 月分より 部 申込みます。なお、代金は請求により支払います。
 ■年間購読料1,800円(税込、送料含む) ■お申し込みはFAXまたはメールでお送りください。

お名前: _____ TEL: _____ FAX: _____
 〒 _____

あ と が き
 関プロ公連理事会も無事終了、群馬県公連主管の下、8月の大会に向け具体的な歩を進めようとしております。
 県公連理事・評議員会では18年度の方向づけがなされましたが、内外共に厳しい財政事情のため大幅な収入減となりそうです。
 せめて、新潟県公民館月報の自主購読の拡大を図らねばならないようです。
 二月号「七面(素顔拝見)」お名前を左記のとおり訂正し、お詫びいたします。
 皆川春夫さんから
 泰夫さんへ
 三月は、年度末、年度始めの人事異動も予定されております。(鈴木 記)

Event Information

平成18年3月の催物ご案内

親子で楽しむ 万華鏡展
 2006年 春の特別展
 3月18日(土)~4月2日(日)

万華鏡展実行委員会
 3月26日 13:00~14:00
 新潟県立自然科学館 2階

新潟県立自然科学館
 〒950-8644 新潟市中央2丁目1番1号 TEL:025/2833331